

平成23年3月11日の大震災により、本校学区内7町内会のうち3町内会が壊滅的な被害を受け、本校児童一名を含め82名の尊い命が奪われました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

本校校庭にも津波が押し寄せましたが、幸いなことに校舎や体育館が浸水するまでには至りませんでした。3月12日現在において723名の方が校舎内に避難しておりました。直ちに避難所運営委員会が組織され、3月14日には教室に避難していた住民全員が体育館の避難所に移動し、自主的な運営が始まりました。教職員が児童のためにしなければならない業務に専念できるような環境整備をお願いしましたところ快諾をいただきました。そのため、教職員は避難所支援業務から切り離されることとなり、児童の安否確認、修了式・卒業式へ向けた準備、教室の清掃活動や消毒作業などの業務に従事することができました。

3月24日（木）は、平成22年度全児童の最終登校日でした。担任たちは通用門に立ち、震災後初めて登校する児童たち一人一人に声をかけながら迎え入れていました。テレビ放送による修了式。午後には約1km離れた地区の集会場での普段着の卒業式。卒業児童へは避難所の炊事班からお祝い弁当が提供されました。地域の皆様が、岡田小の子供たちをどれだけ大切に思っているかを、改めて思い知らされた幸いです。

平成23年度は、被災地の学校、避難所のある学校という状況を踏まえ、全ての教育活動は児童及び地域住民の心のケアに努めることを基本方針としました。4月13日に始業式、入学式を行い、全校児童は215名となりました。津波で家を失い、岡田地区周辺のアパートや親戚の家から通学する児童、避難所から通う児童もおります。そこで、避難所と共存する被災地の学校として以下のようなことに取り組んでまいりました。

1 安全・安心の保障

(1) 心のケアを十分に

- ① 落ち着いた雰囲気づくり
- ② カウンセリングマインドに立った指導の充実
- ③ 時間のけじめ（ベル着）から震災以前の生活リズムへ

(2) 健康管理

- ① 粉じんによる健康障害対策（マスク、空気清浄機、汚泥の撤去等）
- ② 擦過傷、切り傷の手当の知識理解と習得

(3) 校地内の交通事故防止

- ① 児童通用門と駐車場入口の分離

- ② 校地内での安全な遊び方の指導
- (4) 不審者対応
 - ① 見回りと声かけの強化
 - ② 避難所区域への児童だけの立入禁止

2 防災教育の徹底

- (1) 避難訓練
 - ① 小さな訓練の積み重ねによる危機対応の体得
 - ② 津波避難における児童と地域住民の避難場所の線引き確認
- (2) 防災教育
 - ① 道徳，生活科，総合的な学習の時間の活用
 - ② 登下校時の安全確保指導

3 学校による避難所支援

- (1) 明るく親しみのあるあいさつの奨励
- (2) 避難所入所者との交流会等の企画

避難所は、6月10日夜に閉鎖となりました。一時は全校児童数の約三倍ほどの人数が体育館に避難しておりましたが、避難所運営委員会の尽力並びに入所者の方々のご協力とチームワークにより規律と調和が保たれていたため、学校は通常に近い教育活動を行うことができました。運営委員会、入所者の皆様、及び関係各所の皆様に感謝申し上げます。

3.11の震災から今日まで、同窓生、他県の小中学校、民間企業の皆様から温かいご支援を賜りました。避難所支援に来てくださった新潟小学校の技師の方が校長先生の許可を得て子供たちに支援を呼びかけて集めた学用品を送ってくださったり、事務職員の方がアサガオの種を送ってくださったりと学校あげてのご支援いただきました。また、わざわざ広島から鯉のぼりや子供たちの寄せ書きを届けてくださった方、神戸から激励に来てくださった校長先生方など、本校への支援は枚挙にいとまがありません。ご支援いただきました方々に衷心より御礼申し上げます。

また、仙台市教育委員会におきましては、ランドセルをはじめとする学用品や運動着等の手配、人員配置におけるご配慮等多方面にわたり支えていただきましたことに感謝申し上げます。

現在、学校では、全市的に取り組んでいる復興プロジェクトのほかに、保護者や地域の方々と連携を図りながら様々な復興プロジェクトを推進しているところです。

1 運動会プロジェクト

例年通りの運動会（体育振興会共催）は中止。そこで、学校主催とし、保護者や地域住民が参加できる種目も取り入れた運動会を行う。

2 ひまわりプロジェクト

全国的な運動ですが、本校では子供たちが牛乳パックで種から苗を育て、地域の方や仮設住宅の方々に頒布する。

3 うさぎプロジェクト(PTAと連携)

老朽化したうさぎ小屋を、触れ合いの場も併設した小屋に建て替えする。

4 めだかプロジェクト(PTAと連携)

昨年、岡田の水田で採集したクロメダカを校内で繁殖させ、2、3年後に岡田の田んぼ等に放流する。

5 ポスター・Tシャツプロジェクト(地域と連携)

「がんばっぺ おかだ Yes We Can おかだ」のポスターとTシャツを作成する。ポスターにはオリジナルキャラクターを配置。Tシャツは売上金の一部を義援金に回す。

6 復興 夏まつりプロジェクト(地域と連携)

校庭を会場に、岡田体育振興会が中心となり、犠牲者の供養と岡田地区の早期復興を願い夏まつりを開催する。

あの大地震から三ヶ月以上がたちました。校庭の整備はまだですが、体育館や特別教室は来週から使用できるようになり、震災前の日常を取り戻しつつあります。しかし、「心のケア」につきましては、これからが本番で長期戦になります。教職員一同一丸となり、児童の行動観察や生徒指導上の問題などから児童の心の機微を把握し早期対応を図り、健全な心の育成に取り組んでまいります。皆様方のご理解とご協力をお願いしましてあいさつといたします。

